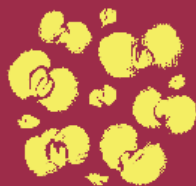


おいしい！の
笑顔をつくる

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社



お花

— 株主のみなさまへ —

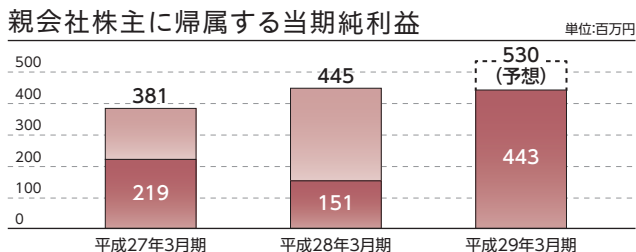
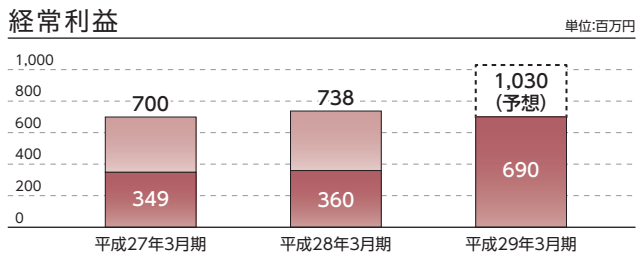
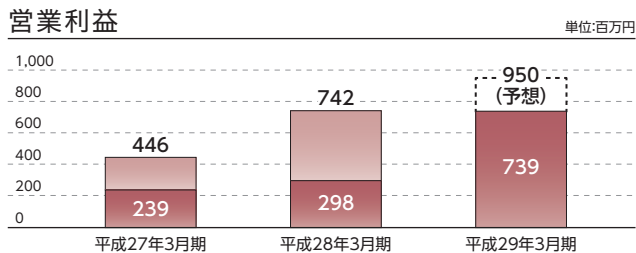
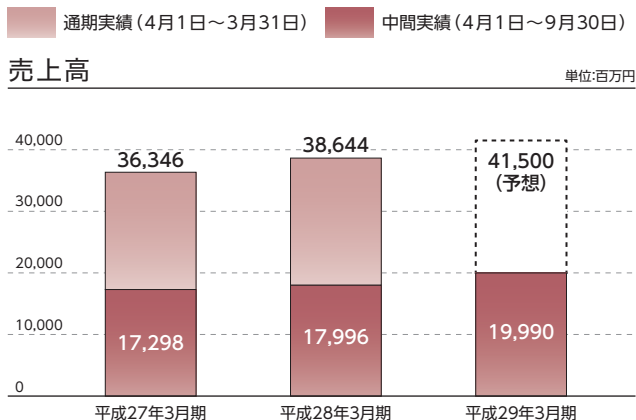
第80期 中間報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日



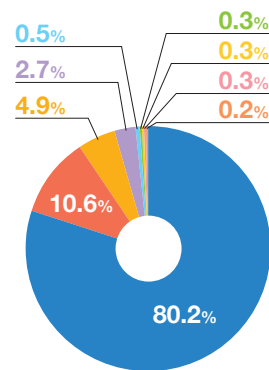
imuraya group

連結財務ハイライト



持株会社及び事業会社別の売上高

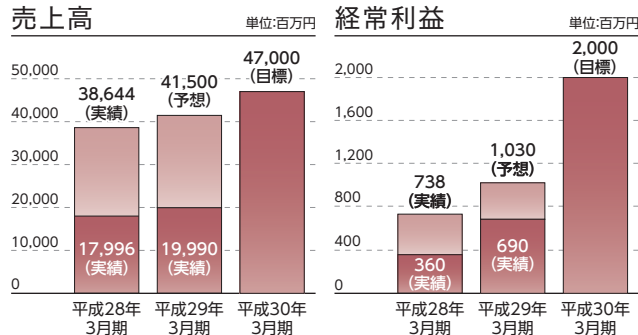
- 井村屋(株) 80.2%
- 井村屋シーズニング(株) 10.6%
- 日本フード(株) 4.9%
- IMURAYA USA, INC. 2.7%
- 北京京日井村屋食品有限公司 0.5%
- 井村屋グループ(株) 0.3%
- 井村屋(大連)食品有限公司 0.3%
- イムラ(株) 0.3%
- 井村屋(北京)食品有限公司 0.2%



井村屋グループ中期3カ年計画

One imuraya 2017

井村屋グループは、平成27年4月から平成30年3月までの3年間の経営方針として、中期3カ年計画「One imuraya 2017」を策定しました。厳しさを増す経営環境のなか、グループ間の連携を強め、より一層のシナジー効果を発揮することでグループ企業価値をさらに高めてまいります。常にお客様の視点に立ち、継続的なイノベーション(革新)で特色経営をさらに磨き、着実な成長によって社会に貢献するグループ企業を目指します。



井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。



井村屋グループ株式会社
代表取締役会長 (CEO)

浅田 剛夫



井村屋グループ株式会社
代表取締役社長 (COO)

大西 安樹

株主のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第80期上半期(平成28年4月1日～平成28年9月30日)を終了し、中間報告書をお届けするにあたりご挨拶を申し上げます。

日本における経済環境は、政府の経済政策により企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が続いておりますが日本銀行による物価指数2%目標達成の先延ばしや海外景気の下振れ懸念など、依然先行き不透明な状況が続いております。

菓子・食品業界におきましても、消費動向は予断を許されない状況の中で企業間競争は激化し、厳しい経営環境が続いております。

そのような経営環境の中で当社グループは、中期3カ年計画「One imuraya 2017」の2年目を迎え、「つながりと革新による着実な成長」を基軸に事業活動を展開致しました。

特にお客様へ新しい価値提供を行うNEWとNEXTの市場創造活動におきましては、発売4年目を迎えます冷菓商品の「やわもちアイス」シリーズは9月に発売累計1億個を突破するなど確実に

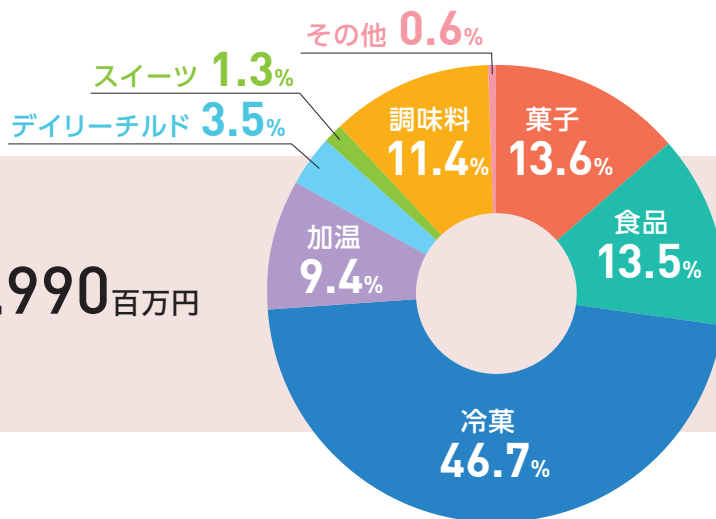
次の成長の礎となる商品に育ちつつあります。

下半期におきましても素材・製法・配合に特色を持った「ゴールドシリーズ」の拡充や新機能として「蒸す」に「焼く」を加えた肉まん・あんまんシリーズの新ブランド「ベイクド・デリ」シリーズの発売などNEWの創造をテーマとする取り組みが続きます。また中国・米国で展開しております海外事業も新マーケット拡大を確実なものとして成長を継続しております。

中期3カ年計画最終年の2017年度は、創業120年、会社設立70周年、持株会社制移行7年目を迎えます。多様性を尊重し、特色のある経営資源を活用して「強くて、しなやかで、魅力ある会社」を目指し、グループ一丸となって経営理念であります「おいしい!の笑顔」をつくってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

連結売上高 19,990百万円



菓子 2,740百万円 (前年同期比62百万円(2.3%)増)

菓子については、「ようかん類」ではえいようかんや招福羊羹シリーズが順調に推移し、「水ようかんギフト」では付加価値の高いゴールド水ようかんシリーズの売上が増加しました。またゴールドシリーズのゴールドようかんが「2016日本パッケージングコンテスト」において「パッケージデザイン賞」を受賞しました。この受賞を契機に、ゴールドようかんの拡売につなげてまいります。焼き菓子では、和菓子屋のどら焼きシリーズが前年同期比40%増と着実に伸長し、「カステラ類」は新商品のクリームチーズカステラが好評をいただいております。海外では、中国の井村屋(北京)食品有限公司(IBF)が新規業務用ルートの開拓に取り組みました。



食品 2,702百万円 (前年同期比242百万円(9.9%)増)

食品については、容器をリニューアルした氷みつが堅調に推移し、日本フード株式会社ではOEM受託商品の売上が順調に増加しました。



冷菓 9,327百万円 (前年同期比1,593百万円(20.6%)増)

冷菓商品は、主力商品あずきバーシリーズが好調に推移し、4月～9月の売上本数は2億17百万本(前年同期比8.4%増)となりました。独自の技術でもちの食感が好評をいただいておりますやわもちアイスシリーズは、新商品やわもちアイス(わらびもち)が売上増加に貢献し、やわもちアイスシリーズの売上は前年同期比11億8百万円(119.4%)増と大きく伸長しました。また、秋冬物アイスクリームチーズアイスの発売を9月より再開し、引き続き好評をいただいております。クリームチーズアイスは「2017日本パッケージデザイン大賞」において入選を果たしており、この受賞を契機に、更なる拡売を図ってまいります。

米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.では米系小売業への導入が進み、井村屋ブランド商品である新商品もちココナッツアイスも大手量販店への販売拡大が期待されます。IMURAYA USA, INC.の売上高は前年同期比1億46百万円(37.4%)増となりました。



加温 1,874百万円 (スチーマー商品) (前年同期比123百万円(6.2%)減)

「肉まん・あんまん」類では、残暑の影響から、流通における発売開始が前期より遅れたことにより、コンビニエンスストア向けの加温商品の売上高は前年同期比1億23百万円(6.2%)減の18億74百万円となりました。今シーズンにつきましては、新商品として「蒸す」調理の後で更に「焼く」調理を加えることで、新しい食感を味わっていただける**ペイクド・デリ**シリーズを発売いたしました。**ゴールドまん**シリーズでは新たに**ゴールドピザまん**を投入し、本格的なシーズンに向け、お客様に新たな付加価値の提供を進めております。また、10月には「点心・デリ工場」(約20億円の設備投資を予定)の建設に着手しました。来期に向け、更なる成長戦略の展開を図ってまいります。



デイリーチルド 689百万円 (前年同期比3百万円(0.5%)増)

デイリーチルド商品では、「豆腐類」で**美し豆腐**やその他の業務用商品が堅調に推移しました。



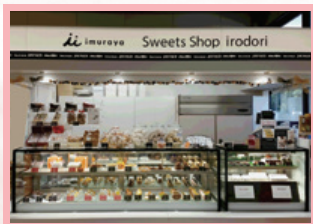
スイーツ 258百万円 (前年同期比81百万円(46.1%)増)

「Anna Miller's (アンナミラーズ)」 「JOUVAUD (ジュヴォー)」のブランドを活かした事業展開を行っているスイーツでは、「Anna Miller's (アンナミラーズ) 高輪店」が引き続き堅調に推移しました。「JOUVAUD (ジュヴォー)」では、「La maison JOUVAUD (ラ・メゾン・ジュヴォー) KITE名古屋店」が本年6月にオープンして以来好調に推移しており、特徴あるメレンゲ菓子の**生ロカイク**がテイクアウト商品として人気を集めております。



調味料 2,283百万円 (前年同期比126百万円(5.9%)増)

国内では井村屋シーズニング株式会社が、OEM及びODM (Original Design Manufacturing) 市場での新規販売先の開拓により売上高が増加しました。また、生産性向上活動により労務費とエネルギーコストの低減を図り、利益も前年同期より増加しました。中国での調味料事業では、北京の北京京日井村屋食品有限公司 (JIF) が中国国内で積極的な販路拡大に取り組みました。大連の井村屋 (大連) 食品有限公司 (IDF) では韓国向けの輸出が堅調に推移し、生産量が増加するとともに製造原価の低減が図られました。



その他 114百万円 (前年同期比7百万円(6.7%)増)

イムラ株式会社がやっているリースや保険の代理業は堅調に推移しました。また、井村屋商品のアウトレット販売を行っております「MOTTAINAI屋」はお客様へのサービス向上に取り組み、地域住民の皆様から引き続き好評をいただきました。本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に出店している「Imuraya Sweets Shop Irodori」は特色のあるスイーツ商品を中心に人気を得ており、売上が増加しました。

四半期連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成28年3月31日	当第2四半期連結会計期間 平成28年9月30日
(資産の部)		
流動資産	8,918	10,590
現金及び預金	909	769
受取手形及び売掛金	4,945	6,199
たな卸資産	2,428	2,634
その他	635	987
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	14,381	15,763
有形固定資産	12,224	13,512
無形固定資産	138	143
投資その他の資産	2,019	2,107
繰延資産	29	22
資産合計	23,329	26,375
(負債の部)		
流動負債	10,300	13,170
固定負債	2,192	2,435
負債合計	12,492	15,605
(純資産の部)		
株主資本	8,773	8,729
その他の包括利益累計額	2,034	2,017
非支配株主持分	28	23
純資産合計	10,837	10,770
負債・純資産合計	23,329	26,375

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 資産

夏物商品の売上増加に伴い売掛金が増加しました。

POINT 2 負債

生産の増強に伴い支払手形及び買掛金、未払金が増加しました。

POINT 3 純資産

自己株式の取得等により減少しました。

四半期連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
売上高	17,996	19,990
売上原価	12,093	13,215
売上総利益	5,903	6,774
販売費及び一般管理費	5,604	6,034
営業利益	298	739
営業外収益	87	88
営業外費用	25	137
経常利益	360	690
特別利益	56	42
特別損失	61	15
税金等調整前四半期純利益	355	717
法人税等合計	204	274
四半期純利益	151	443
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する四半期純利益	151	443

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1

冷菓商品において、主力の「あずきバー」シリーズが好調に推移するとともに、「やわもちアイス」シリーズにおける新商品が売上増加に貢献し、第2四半期連結累計期間においては売上高、各利益とも過去最高の業績となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前第2四半期連結累計期間 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,012	1,111
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 529	△ 1,415
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 668	283
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△ 117
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 173	△ 138
現金及び現金同等物の期首残高	965	904
現金及び現金同等物の四半期末残高	791	765

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、営業利益が増加しました。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加しました。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)
前年同期に比べ、設備投資による借入金が増加しました。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,644,400株 (自己株式1,771,714株を含む)
株主数	4,724名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社第三銀行	1,177	4.93
株式会社百五銀行	1,157	4.84
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,118	4.68
井村屋取引先持株会	1,004	4.20
中山芳彦	726	3.04
株式会社りそな銀行	572	2.39
株式会社西村商店	478	2.00
双日食料株式会社	465	1.94
井村屋従業員持株会	428	1.79
三井住友海上火災保険株式会社	427	1.78

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。上期9月30日現在の株主様のご優待品は12月中旬頃にお送りいたしております。以下は、2016年9月30日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

※平成28年10月1日の単元株式数の変更及び株式併合に伴い優待制度の変更を検討しております。その詳細につきましては、後日改めてご案内させていただきます。

1,000株以上の株主様



井村屋商品オリジナル詰め合わせ

セレクト商品

井村屋商品オリジナル詰め合わせ+次の2種類からお一つお選びいただけます。

※①は冷凍商品のため、オリジナル詰め合わせとは別便にてお届けいたします。

3,000株以上の株主様



①肉まん・あんまん詰め合わせ



②彩

※写真はイメージです。内容が一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111(通話料無料)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部 名古屋証券取引所 市場第二部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人にお問合せください。
特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

菓子



クリームチーズデザートギフト

Kiri®のクリームチーズを使用したカステラとレアチーズケーキの詰め合わせです。ふんわりとした食感のカステラとレモンリキュールでさっぱり仕上げたレアチーズケーキが楽しめます。



煮あずきパワーようかん

「小豆のいいところ」をまるごと使用したようかんの登場です。食物繊維やポリフェノール、カリウムなどの小豆の健康成分をギュッと閉じ込めました。15gずつ小分けになっているので手軽にワンハンドで召し上がっていただけます。

食品



ゴールド大納言小豆ぜんざい ゴールド白小豆ぜんざい

大納言小豆ぜんざいには大粒の北海道産大納言小豆、白小豆ぜんざいには希少性の高い北海道産白小豆を100%使用。白砂糖と沖縄県産海洋深層水塩を使用し、上品な味わいに仕上げています。

点心・デリ



バイクド・デリ

「蒸し調理」に「焼き調理」を加えた新しいおいしさです。レンジ調理でもっちり、しっとりした食感になり、さらに軽くトーストすることでカリッともちっとした食感をお楽しみいただけます。4種類のチーズを贅沢に使用した「3コ入 バイクド・デリ クワトロチーズ」と、海老のプリプリ感と濃厚クリームを味わえる「2コ入 バイクド・デリ えびグラタン」の2品種があります。

冷菓



やわもちアイス 京きなこつばあん最中

大好評のやわもちアイス最中に京きなこが仲間入りしました。もち粉入りのオリジナル最中皮で、香ばしいきなこアイスと黒蜜、もちを包みました。和風素材のハーモニーをワンハンドでお楽しみいただけます。



BOXひとくちきんつばアイス

小粒のミルクアイスの中に、粒感たっぷりの甘納豆がギュッと入っています。餡には三温糖を使用し、小さくてもコクのある甘さが口口に広がります。和風アイスクリームをちょっとだけ食べたい時にもおすすめです。

La maison JOUVAUD KITTE 名古屋店

2016年6月17日にKITTE名古屋にJOUVAUD（ジュヴォー）がオープンしました。昨年、ジェイアール名古屋タカシマヤにて行われたフランス展、今年2月に開催されたチョコレートの祭典「アムール・デュ・ショコラ」等によりJOUVAUDの認知度が高まっています。様々なメディアでも取り上げていただいたこともありオープンから3ヶ月経った今でも生口カイクを求め連日行列が絶える事があります。今後もプロヴァンス地方のショコラティエが手がけた特色あるメレンゲ菓子や焼き菓子などのバリエーションの充実を行い「おいしい！の笑顔」をお届けし魅力ある店舗づくりに繋げてまいります。



店内の様子

全国菓子大博覧会 お伊勢さん菓子博2017 開催へ向けて

井村屋グループでは、2017年4月の全国菓子大博覧会開催に向けて2016年8月30日に出席3社による合同記者発表を行い、三重県の鈴木知事を表敬訪問しました。会場に設けられる施設「三重おいな館」において「あずき」をテーマに大人から子どもまで楽しめる「あずきパーク」を予定している事などを報告しました。4年に1度、また三重県での開催は初めてということもあり、日本最大のお菓子の祭典を井村屋グループ一丸となって盛り上げていきます。



記者発表の様子

ゴールドようかん 2016日本パッケージングコンテスト 「パッケージデザイン賞」受賞

公益社団法人日本包装技術協会が主催する「2016日本パッケージングコンテスト」において、現在シリーズ展開を行っているゴールドシリーズの「ゴールドようかん」が「包装技術賞部門 パッケージデザイン賞」を受賞しました。化粧箱に再利用可能な「段ボール」を使用した点、またその質感が独特な高級感を生み出したとして高い評価をいただき、昨年の「ゴールドあずきバー」シリーズに続き、2年連続の受賞に至りました。この受賞を契機に味はもちろん、パッケージにもこだわった商品を今後も開発していきます。



受賞の盾と「ゴールドようかん」

日本の和スイーツを世界へ展開

現在、シンガポール・タイ・台湾・香港など東南アジアを中心に海外展示会に積極的に出展しております。日本国内でも売上を伸ばしている「やわもちアイス」等のアイスを小売向けに導入、また海外での日本食ブームの対応として現地にある日本食レストランに和のデザートとして業務用冷凍和菓子の導入も進めております。今後も「あずきをAZUKIに！」をスローガンに井村屋商品を積極的に世界へ発信していきます。



香港FOOD EXPO 2016 展示会の様子

小学生向け社会見学 実施

毎年実施している三重県内の小学生を対象とした社会見学が今年も9月より始まりました。今年5月に竣工しました冷凍倉庫アイアイタワーも見学場所に加わり、井村屋の新キャラクター「アイアイタワーフレンズ」が描かれた「パレタイザー」（パレットに商品を自動で積載する装置）も小学生のみなさまに大変ご好評いただいております。以前は、あずきパーや肉まん・あんまんなどの商品をつくる工程のみの見学でしたが、そのつくられた商品の出荷までの経過を見学することが可能となりました。その結果、井村屋についてより知っていたできるようになりました。引き続き小学生を対象とした社会見学を積極的に受け入れ、学習の場として活用していただきたいと思います。



アイアイタワーフレンズ パレタイザー



社員が働きやすい職場環境を目指して

井村屋グループでは2015年4月より新人事制度を導入しました。職群制度を廃止し、個人の価値観に基づいてキャリアパスが描けるように人事制度を整備しました。社員の能力向上・活躍推進と、ダイバーシティの考えのもと、女性社員の活躍も推進しています。その中で昨年は「女性が輝く先進企業表彰2015」において、「内閣府特命担当大臣（男女共同参画）表彰」を受けました。この受賞を励みに社員一人ひとりの働きがいと成長、次世代への人材育成に取り組んでまいります。

肉まん・あんまん Many Thanks キャンペーン実施

チルドタイプ・冷凍タイプの肉まん・あんまんなど対象商品のパッケージについて応募マークを集めてご応募していただくキャンペーンを実施しております。対象商品には、新たに「ベイクド・デリ」シリーズも加わりました。今年は、伊勢志摩サミット・全国菓子大博覧会の開催で注目されている三重県をテーマに賞品を選出しました。みなさまからのご応募お待ちしております。



※賞品写真はイメージです。やむを得ない事情により、賞品は予告なく変更となることがあります。

関市との“固い”繋がり

昨年2月、日本一の刃物の街として知られる岐阜県関市の日本刀と井村屋あずきバーの共通点である“固さ”にちなんだ投稿がSNS上で大きな反響を呼びました。以来、互いのブランドを高め合う交流を続けております。そして名古屋市栄にて2016年9月23日からの3日間、あずきバーを使った料理を提供する「関鍛冶CAFÉ&あずきBAR」を「刃物まつり」のPRのため開設しました。3日間、客足が絶える事のなく、あずきバー・日本刀どちらもお客様により知っていただける良い機会となりました。SNS上での盛り上がりから始まった井村屋と関市の固く良好な関係を今後も生かし、PRを行ってまいります。



持株会社 概要(平成28年9月30日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地	三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業	明治29年(1896年)
設立	昭和22年(1947年)4月
資本金	2,253百万円
従業員数	45名 ※グループ全体では933名
事業内容	事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理
役員・執行役員	代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO) 大西 安樹 専務取締役兼上席執行役員 前山 健 専務取締役兼上席執行役員 中島 伸子 常務取締役兼上席執行役員 菅沼 重元 取締役兼上席執行役員(CTO) 伊藤 宏規 取締役兼上席執行役員 中道 裕久 取締役 名倉真知子 取締役 西岡 慶子 執行役員 濱口 昭弘 執行役員 岩本 康 執行役員 富永 治郎 常勤監査役 脇田 元夫 常勤監査役 寺家 正昭 監査役 若林 正清 監査役 橋本 陽子

(注)取締役名倉真知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト

<http://www.imuraya-group.com/>

井村屋グループ株式会社ウェブサイトでは、企業情報をはじめ、CSRの取り組みや環境対策、グループ各社の商品情報など、さまざまな情報を掲載しております。

井村屋ウェブショップ

<http://www.imuraya-webshop.jp/shop/>



井村屋株式会社 公式Twitter

https://twitter.com/IMURAYA_DM



井村屋株式会社 公式Facebook

<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



事業会社 概要(平成28年9月30日現在)

より詳しい内容は、各社ホームページ、井村屋グループホームページの「グループ企業紹介」(<http://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社

所在地：三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容：菓子・食品・デイリーチルド・加温・冷蔵・スイーツの製造販売
代表者：浅田 剛夫・前山 健
<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋シーズニング株式会社

所在地：愛知県豊橋市西七根町字奥足田口88番地
事業内容：調味料の製造販売
代表者：菅沼 重元
<http://www.imuraya-group.com/seasoning/>

日本フード株式会社

所在地：愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容：菓子・食品・冷蔵の製造
代表者：森井 英行
<http://www.nipponfood.co.jp/>

イムラ株式会社

所在地：三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容：保険代理業・リース代理店業務・不動産管理業務等
代表者：中島 伸子
<http://www.imuraya-group.com/outline/group/>

北京京日井村屋食品有限公司

所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：調味料の製造販売
代表者：前山 健・近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司

所在地：中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容：菓子の製造販売
代表者：前山 健・周 浩
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.

所在地：2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容：冷蔵の製造販売
代表者：浅田 剛夫・川田 薫
<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司

所在地：中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容：調味料の製造販売
代表者：前山 健・近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/idf/>